

2019年度 報告書



青山学院大学保健管理センター

巻頭言

青山学院大学保健管理センター 所長 五味慎太郎
副所長 塩澤 友規

2019年度年報発刊の季節となりました。2020年8月現在、各大学の保健管理に従事する方がたは、日々、新型コロナウイルス感染症対策にご尽力されていることと存じます。報道によれば、他大学の中には、体育会運動部内のクラスター感染で社会からの批判を浴びているところもあるようです。大学保健管理に従事する我々にとって、これは全く人ごとではありません。本学では、保健管理センター運営委員会を、例年、6月下旬から7月上旬に行っておりますが、今年度はコロナ対策のため、メール会議となりました。新型コロナウイルス感染症のため、新しい大学のあり方、新しい大学保健管理センターのあり方について、日々考えさせられる今日この頃です。

三密をつくりがちな学生健診もまた、このような中どの大学でも大きな悩みの一つになっています。本学では本年度は7月末になんとか無事に終えたところです。様々な感染症対策を講じた結果、幸いその後クラスター感染の発生などはありませんでした。スタッフ一同胸を撫で下ろしているところですが、当然ながら受診率は著しく低下し、来年度からの実施をどうしていくかが今後の大きな課題となっています。

2019年度の当センター主催の学生向けセミナーは、「睡眠」、「留学生の旅行医学」、「バランスの良い弁当」、「姿勢改善」、「新型タバコのリスク」、「健康（野菜・砂糖の摂取量、筋肉量と体脂肪率）」、「体力測定」等のテーマで実施し、何れも大変高評価を頂きました。これらのセミナーにつきましても、今後はコロナ対策を踏まえつつ、安全且つより効果的な方法を検討中です。

当保健管理センターにおけるかねてよりの課題として、大学教員の健康診断受診率の低迷という問題があります。大学教員の受診率引き上げのために、毎年、理事長名で受診を促す通知を出しておりますが、その文面が年々厳さを増す一方で、効果は一向にあがりません。2019年度もやはり低迷に終わり、今年度こそはと意気込んでいたところ、このコロナ禍で、受診率向上を目指すどころか、実施の方法を根本的に考え直す必要に迫られております。今後何年かは、感染症対策を講じながらの新しい教職員健診への取り組みなど課題山積です。

また、当センターでは、近年、教職員向け集団教育に力を入れ、その開催回数と種類は年々増加しています。2019年度はこの巻頭言には書ききれないほど多くの企画を実施し、新たに追加されたものとして、総合防災訓練時の応急救護訓練、健康診断時のテーマ別セミナー、安全衛生委員会時のミニ講座、フィットネスセンターとの共同企画による職場デリバリー体操、手洗いチェッカー体験イベント、摂取野菜量を実測する体験講座など非常に有意義な企画が実施され、おかげさまで大変好評を得ました。しかしながら、せっかくのこれらの企画についてもやはり、コロナ禍の中、今後どの様に継続させていくかということについて検討を迫られることとなっています。

また、本学では、ストレスチェック受診率が常に60%台と非常に低迷していることも課題の1つです。今思えば、初年度に時間的にギリギリのスケジュールで導入し、教職員に対する説明不足のため十分な信頼が得られず、依然その影響を引きずっている可能性が否めません。一方、メンタルヘルスに関しては、セルフケア研修等の研修活動に力を入れております。しかしながら、これら研修活動につきましても、今後コロナ禍の中、安全且つ効果的に進めるという課題に取り組みねばなりません。

昨年度のその他特筆すべき成果として、喫煙所対策に進展が得られたことが挙げられます。理想的にはキャンパス内禁煙ですが、2020年の改正健康増進法施行を機に、以前4か所あった屋外喫煙所を1か所に縮小させました。現時点では、理工学部など一部の授業を除きオンライン授業を導入しているため、学生の喫煙所利用は殆どありませんが、残念ながら喫煙所には依然として教職員らの煙が立ち昇っています。喫煙する学生たちに聞くと、教職員らが喫煙している姿を見ると自分たちも吸って良いものだという雰囲気なると言います。対面授業再開に向け、今後も関係部署と粘り強く協議し、引き続き努力していきたいと思っております。

保健管理センターの業務は、時代とともに確実に変遷してきており、我々には、常に新たな情報を得、学び続けることが求められています。新型コロナウイルスと共存する新しい時代を迎え、新しい生活様式、新しい大学のあり方が模索されています。また、秋以降にはインフルエンザ流行期に入り、インフルエンザ対策とともにコロナ対策を講じつつ入学試験という大イベントを切り抜けなければなりません。このような中、大学保健管理センターには、今後あらゆる局面で相応のリーダーシップが期待され、センターのあり方にも大きな変革が求められることと思います。私ども青山学院大学保健管理センター職員一同、これからもより良い健康管理を目指してまいりますので、引き続きご支援いただきたくお願いいたします。

目次

2019 年度業務報告

1. 年間業務内容	5
2. 学生定期健康診断	7
①学生定期健康診断 受診状況（全キャンパス）.....	7
②学生定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）.....	8
③学生定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）.....	9
④学生の身体状況（肥満とやせ）.....	10
⑤学生集団健康教育.....	11
⑥感染症罹患報告者数.....	13
⑦学生の休学・退学者数.....	13
3. 教職員定期健康診断	14
①教職員定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）.....	14
②教職員定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）.....	15
③教職員の身体状況（肥満とやせ）.....	16
④教職員に対する風疹抗体検査・予防接種.....	17
⑤保健指導と集団健康教育.....	18
⑥教職員の休職・復職者数（対象：学院全体）.....	20
⑦長時間労働者への産業医による面接.....	20
⑧ストレスチェック受検率に関する報告（対象：学院全体）.....	21
4. その他の法定健康診断	22
①特殊健康診断（相模原キャンパス）.....	22
②雇入時の健康診断.....	25
③特定業務従事者健康診断.....	25
5. 健康診断証明書発行業務	26
①青山キャンパス健康診断証明書発行枚数.....	26
②相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数.....	26
6. 救急処置・検査等保健管理センター利用状況	27
①青山キャンパス.....	27
②相模原キャンパス.....	28

7. 各キャンパス業務内容利用状況	29
①青山キャンパス.....	29
②相模原キャンパス.....	30
8. 行事のための救急待機保健管理センター利用状況	31
9. 各種情報処理	32
①学生健康診断処理関係.....	32
②教職員健康診断処理関係.....	32
10. 受動喫煙防止対策	33

2. 学生定期健康診断

①学生定期健康診断 受診状況（全キャンパス）

（2019年4月 現在・・・地球社会共生学部留学帰国生のみ7月 現在）

学部		学年・性別	学 年 別					性 別		合 計
			一年生	二年生	三年生	四年生	大学院 専門職大学院	男	女	
昼 間 部	文学部	学 生 数	766	747	737	884	—	786	2348	3134
		受診者数	748	640	612	750	—	653	2097	2750
	教育人間科 学部	学 生 数	291	326	330	356	—	395	908	1303
		受診者数	286	295	298	326	—	349	856	1205
	経済学部	学 生 数	546	592	520	664	—	1484	838	2322
		受診者数	540	457	394	518	—	1165	744	1909
	法学部	学 生 数	515	505	472	604	—	1093	1003	2096
		受診者数	508	385	384	491	—	875	893	1768
	経営学部	学 生 数	552	530	534	626	—	1190	1052	2242
		受診者数	550	441	434	519	—	985	959	1944
	国際政治経済 学部	学 生 数	302	306	342	351	—	584	717	1301
		受診者数	295	239	242	256	—	437	595	1032
	総合文化政策 学部	学 生 数	267	253	284	327	—	377	754	1131
		受診者数	263	224	240	266	—	310	683	993
	理工学部	学 生 数	643	643	755	648	—	2127	562	2689
		受診者数	623	568	616	584	—	1876	515	2391
	社会情報学部	学 生 数	218	191	250	287	—	582	364	946
		受診者数	218	169	203	241	—	491	340	831
	地球社会共生学部	学 生 数	197	192	196	238	—	297	526	823
		受診者数	190	172	173	203	—	247	491	738
コミュニティ 人間科学部	学 生 数	266	0	0	0	—	74	192	266	
	受診者数	263	0	0	0	—	72	191	263	
合計	学 生 数	4563	4285	4420	4985	—	8989	9264	18253	
	受診者数	4484	3590	3596	4154	—	7460	8364	15824	
	受診率	98.3	83.8	81.4	83.3	—	83.0	90.3	86.7	
大学院・専門職大学院	学 生 数	—	—	—	—	1211	767	444	1211	
	受診者数	—	—	—	—	840	548	292	840	
	受診率	—	—	—	—	69.4	71.4	65.8	69.4	
総合計	学 生 数	4563	4285	4420	4985	1211	9756	9708	19464	
	受診者数	4484	3590	3596	4154	840	8008	8656	16664	
	受診率	98.3	83.8	81.4	83.3	69.4	82.1	89.2	85.6	

*上記は科目等履修生(学生数162名、受診者数17名、受診率10.5%)、専門職大学院後期入学者(学生数14名、受診者数5名、受診率3.6%)を除く

*上記はさかのぼり入学(法学部2名、国際政治経済学部1名)が含まれる

②学生定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）

青山キャンパス

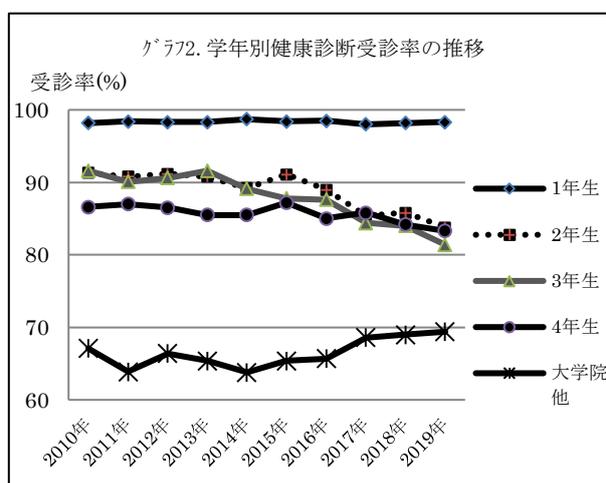
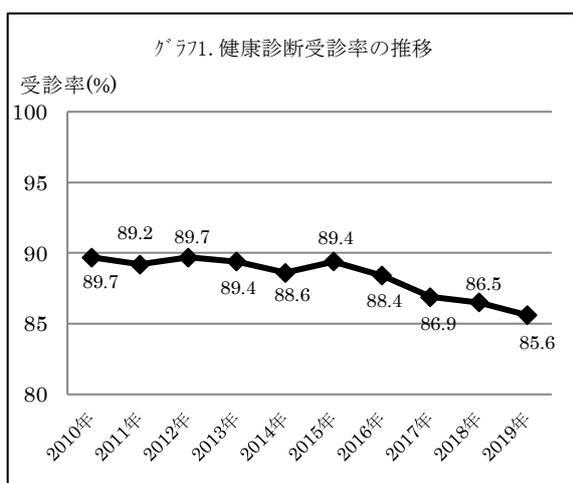
(2019年4月24日現在)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率(%)		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	14355	4991	7078	12069	78.9	88.2	84.1
問診	14355	4991	7078	12069	78.9	88.2	84.1
レントゲン	14355	4991	7078	12069	78.9	88.2	84.1
視力	11119	3587	5283	8870	73.2	84.9	79.8
内科診察	7935	2990	3960	6950	82.8	91.6	87.6
尿検査	7935	3019	3894	6913	83.6	90.1	87.1
血圧測定	3258	1102	1607	2709	76.5	88.4	83.1

相模原キャンパス

(2019年4月24日現在/地球社会共生学部留学帰国生のみ7月26日現在)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率(%)		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	5116	3023	1580	4603	88.2	93.7	90.0
問診	5116	3023	1580	4603	88.2	93.7	90.0
レントゲン	5116	3022	1579	4601	88.1	93.6	89.9
視力	3792	2274	1034	3308	85.5	91.4	87.2
内科診察	2917	1773	958	2731	92.2	96.4	93.6
尿検査	2921	1766	929	2695	91.7	93.4	92.3
血圧測定	1027	599	333	932	88.6	94.9	90.7



2019年度の学生健康診断受診率は、年々減少し過去最低の85.6%であった。2019年度から完全に第二部の受診者が無くなり、コミュニティ人間科学部が増えた。文学部、経営学部、大学院他が昨年度よりわずかに上昇し、コミュニティ人間科学部が98.9%となつてはいるものの全体的に減少しているので全体の受診率増加には反映されなかった。例年同様、学年、学部指定日以外の受診も可能とし、健診当日の学生ポータル配信で受診を促し、地球社会共生学部の学生（学部必須の留学のため健康診断できない）に対して7月に受診の機会を設けたが、全体の受診率の上昇にはつながらなかった。

学部別受診率を比較すると、コミュニティ人間科学部と教育人間科学部が90%を超え、国際政治経済学部は80%を下回っている。社会人学生の多い専門職大学院生の受診率は60%を下回り全体的には低いが一昨年の54.2%から少しずつ上昇が伺える。

学生定期健康診断期間に受診せず、必要に迫られ慌てて外部受診をする学生が多い傾向にあるように思われる。

③学生定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）

健診項目	有所見者数	有所見率(%)	有所見者の経過 ()内:人数			
			医師判定にて問題なし	要経過観察	要治療又は治療中	未来室者数
胸部レントゲン	237	1.4	所見あるも問題なし(229)	気胸(1) 陳旧性陰影(1) 肺結核既往(1) その他(1)	気胸(2) 肺炎(1)	1
循環器(心臓)	57	0.6	異常なし(22) 所見あるも問題なし(4)	心室性期外収縮(5) 心室期外収縮/非特異性ST-T異常(1) WPW症候群(2) 完全右脚ブロック(1) 1度房室ブロック(1) その他(3)	心室中隔欠損症(5) 心房中隔欠損症(1) 心室期外収縮(1) 軽度大動脈弁狭窄(1) 僧帽弁閉鎖不全症(1) 弁膜症(2) 受診結果未報告(6)	1
内科(貧血・他)	117	1.2	甲状腺:異常なし(56) 貧血:異常なし(31) リンパ腺:異常なし(4) 運動障害:異常なし(1)	甲状腺: 甲状腺腫大(1) 甲状腺機能亢進症(1) 腺腫様甲状腺腫(2) 橋本病(1) その他(12) 貧血: 経過観察(5)	甲状腺: バセドウ病(5) 橋本病(2) STISH疑い(1) 甲状腺嚢胞(1) 受診報告未(8) 貧血: 鉄欠乏性貧血(5) 要精査(1) 受診結果未報告(5)	5
腎・泌尿器	318	3.3	再検査にて問題なし(255)	潜血尿(6) 蛋白尿(7) 腎性尿糖(2) 空腹時血糖高値(1) ナットクラッカー症候群(1)	IgA腎症(4) IgA腎症疑い(1) 糖尿病(5) 尿路感染症(2) 尿潜血(6) 受診結果未報告(2)	25
血圧	113	3.1	再検査にて問題なし(105)		高血圧(1) 若年性高血圧疑い(1) 受診結果未報告(1)	5

学生定期健康診断における有所見者は延べ845人であった。有所見者に対しては再検査や病院紹介等を行っているが、有所見者のうち84.0%が精密検査の結果問題なしとなっている。経過観察は6.7%、要治療（治療中含む）の学生は8.4%であった。定期健康診断で新たに発見された疾患は、バセドウ病、鉄欠乏性貧血、IgA腎症などがあり治療を開始した学生もいた。また、治療の必要性があるが、治療を中断している学生に対しては、内科医による医師面談や看護職による受診奨励等を実施し、治療継続に繋げた。

④学生の身体状況（肥満とやせ）

1) 身長・体重・BMIの平均値 性×学年別

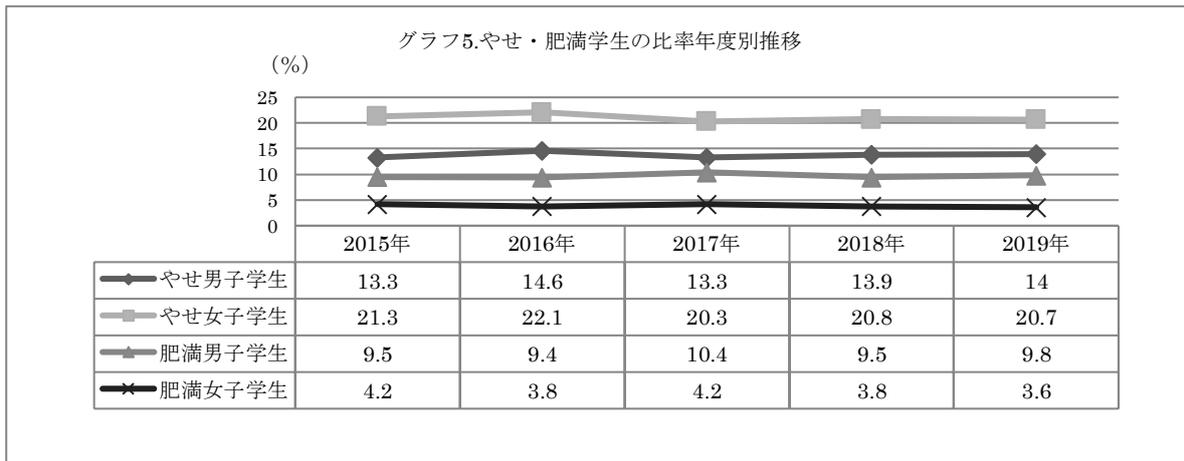
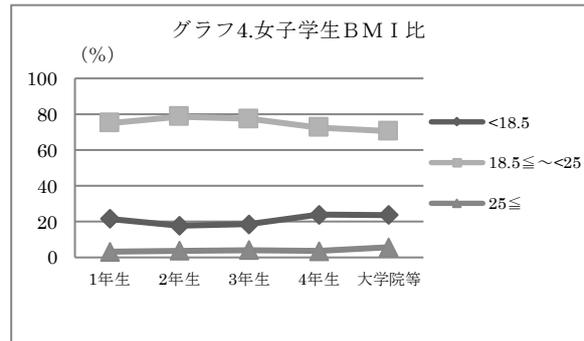
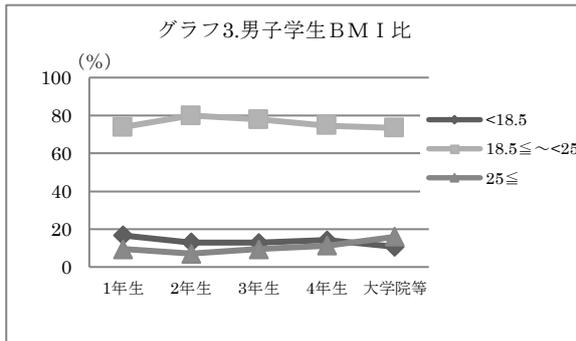
(2019年4月24日現在)

学年	平均値	男子学生				女子学生			
		身長	体重	BMI	平均年齢	身長	体重	BMI	平均年齢
1年生		171.9	62.4	21.1	18.6	158.6	50.8	20.2	18.4
2年生		172.3	62.5	21.1	19.7	158.6	51.7	20.5	19.4
3年生		172.2	63.5	21.4	20.7	158.8	51.7	20.5	20.5
4年生		172.0	63.4	21.4	21.9	159.0	51.0	20.2	21.6
大学院生 専門職大学院生		172.3	65.7	22.1	25.8	160.2	52.3	20.4	27.4
全体平均		172.1	63.1	21.3	20.6	158.8	51.3	20.3	20.2

2) 学年別やせの者・正常者・肥満者の割合 性×学年別

(2019年4月24日現在)

学年	BMI	男子学生			女子学生		
		<18.5 (やせ)	18.5≤~<25 (正常)	25≤ (肥満)	<18.5 (やせ)	18.5≤~<25 (正常)	25≤ (肥満)
1年生		16.6%	73.9%	9.5%	21.7%	75.1%	3.2%
2年生		13.0%	80.0%	7.1%	17.7%	78.6%	3.7%
3年生		12.8%	77.8%	9.4%	18.6%	77.4%	4.0%
4年生		14.1%	74.6%	11.3%	23.9%	72.6%	3.5%
大学院生 専門職大学院生		10.7%	73.4%	15.9%	23.7%	70.6%	5.7%
全体平均		14.0%	76.1%	9.8%	20.7%	75.6%	3.6%



平均身長、平均体重とも全学年を通して毎年大きな変化はない。体格指数(BMI)を全国平均(2015年学生の健康白書)と比較すると、男子学生はやせの割合がやや高く(全国11.3%に対し本学14.0%)、肥満の割合が少なく(全国11.3%に対し本学9.8%)、また女子学生はやせの割合が高く(全国15.7%に対し本学20.7%)、肥満の割合が少ない(全国5.8%に対し本学3.6%)傾向が続いている。

青山キャンパスでは、BMI15.5以下とBMI30以上の学生を対象に個別面談(体調確認・保健指導)を行い、BMI30以上の学生に年2回、肥満予防に関する保健便りを提供している。やせ(BMI15.5以下)の学生は73名中44名(60.3%)

が来室したが、肥満（BMI30以上）の学生については116名中50名の来室（43.1%）にとどまっている。

相模原キャンパスでも、2019年度よりBMI15.5以下とBMI30以上の学生を対象に個別面談（体調確認・保健指導）を行い、BMI30以上の学生に対して年1回肥満予防に関する保健だよりの発行を開始した。やせ（BMI15.5以下）の学生は16名中14名（87.5%）、肥満（BMI30以上）の学生は52名中47名（90.4%）が来室し、個別に保健指導を実施することができた。

若年層に対する生活習慣改善に向けた介入や動機付けは、その後の体重の安定化や生活習慣病予防に重要であり、健康寿命の延長にも影響する。また、生理不順や精神疾患の影響、食生活や生活習慣の乱れから適正な体重コントロールができなくなった学生に対しては、早急な対応が必要となる場合もある。来室率の維持、そして継続的に関わっていくことができるよう、介入方法の検討を適時行っていくと共に、個別面談だけでなく集団教育の開催等も考えていきたい。

⑤学生集団健康教育

健康教育テーマ	実施日	講師・相談員等	参加人数	実施場所
ヘルシー定食提供(減塩&600kcal) ・栄養成分表示とレシピ配布 ・アンケート画面上で保健管理センターポータル健康ポータル *ヘルシー定食提供に関しては以下同様	5/28・29 (11:30~売場まで)	メニュー考案 IVCS栄養士	2日 で 135 食完売	青山キャンパス 学生食堂
世界禁煙 Day イベント ・情報配信、ポスター提示 ・禁煙相談窓口設置	5/30~6/6	非常勤呼吸器内科医 保健師・看護師	イベントのため カウントせず 相談者数0名	5号館前喫煙所 両キャンパス 保健管理センター
・呼吸一酸化炭素測定会	5/30(12:00~15:30)	保健師・看護師	76名	6号館前広場
・呼吸器内科医によるセミナー 「たばこ健康・新型タバコの健康被害・受動喫煙」	5/30(15:00~15:30)	保健管理センター 非常勤呼吸器内科医	5名	6号館 610教室
ヘルシー定食提供(野菜 360g)	6/26(11:30~)	メニュー考案 IVCS栄養士	75 食完売	青山キャンパス 学生食堂
考えてみよう、私の間食生活イベント ・ポスター展示、リーフレット配布 ・食品サンプル展示 ・栄養士相談窓口設置、事前質問受付	6/29 (11:30~13:20)	IVCS 栄養士 保健師・看護師	イベントのため カウントせず	
睡眠セミナー ・不眠症（診断基準、有病率、不眠症の種類） ・睡眠不足はなぜ問題か（身体的、精神的） ・睡眠時間は人それぞれ、就寝時刻について ・生体リズム、睡眠習慣の改善方法	7/17 (15:00~16:00)	保健管理センター 非常勤精神科医	7名	青山キャンパス 保健管理センター
ヘルシー定食提供(減塩&600kcal)	7/24・25(11:30~)	メニュー考案 IVCS栄養士	2日 で 125 食完売	青山キャンパス 学生食堂
「デスクでできる姿勢改善」プチセミナー 「新型タバコの本当のリスク」プチセミナー 「より良い睡眠をとるためには」プチセミナー	9/24(13:30-13:50) 9/26(14:30-15:00) 9/27(14:30-15:00)	対象者は学生・教職員だが、青山キャンパス教職員健康診断日程に合わせ開催 *詳細は教職員集団教育のページ参照 学生13名参加		
健康ブース ・砂糖を摂りすぎていませんか？ (食品サンプル、ポスター展示) ・野菜を食べよう！ (野菜の量を実際に計測できる体験型) ・体脂肪、筋肉量計測(体験型、脂肪モデルも展示)	10/1~4 (9:30~16:30)	保健師	カウントせず	相模原キャンパス 保健管理センター
ヘルシー定食提供(疲労予防)	10/23・24(11:30~)	メニュー考案 IVCS栄養士	1日目 40 食完売 2日目 65 食/80 食	青山キャンパス 学生食堂

睡眠セミナー ・不眠症（診断基準、有病率、不眠症の種類） ・睡眠不足はなぜ問題か（身体的、精神的） ・睡眠時間は人それぞれ、就寝時刻について ・生体リズム、睡眠習慣の改善方法	11/14 (15:00～16:00)	保健管理センター 非常勤精神科医	3名	相模原キャンパス 保健管理センター
LET'S 体力測定！～自分の体力を知ろう ・握力測定 ・ジャンプ力測定 ・トレーニング方法揭示	11/19・20 (9:30～16:00)	保健師 保健管理センター 事務職員	19名	相模原キャンパス 保健管理センター
ヘルシー定食提供(風邪予防)	11/20・21(11:30～)	メニュー考案 IVCS 栄養士	1日目 40食完売 2日目 49食/70食	青山キャンパス 学生食堂
世界エイズ Day イベント ・エイズのイメージを変えよう ・日本と世界の HIV 流行の状況 ・HIV とは？エイズとは？ ・梅毒が流行しています *アンケート回答者へコメントとパンフレットを配布	11/27・28 (12:30～15:10)	保健師・看護師 保健管理センター 事務職員	イベントのため カウントせず アンケート回答者数 619名	青山キャンパス 17号館入口 中庭ウッドデッキ
海外留学医療特別セミナー「留学生の旅行医学」 ・最近の海外での事故・死亡統計 ・旅行に持って行くべき3つの薬 ・海外で役立つ安全カルテ ・留学生のリスク、留学と予防接種 等	12/6 (12:40～14:00)	千駄ヶ谷インターナショナルクリニック院長(日本旅行医学会・理事)	97名	青山キャンパス 17610 教室 相模原キャンパス E 棟 301 教室 (TV 中継)
LET'S お弁当生活～管理栄養士があなたの手作りお弁当を診断します～ ・バランスのよいお弁当 ・お弁当作りに困らない3つの方法	12/9 (12:40～13:10)	フィットネスセンター管理栄養士	2名	青山キャンパス 17号館3階 学生ラウンジ 1
ヘルシー定食提供 (風邪予防)	12/18・19(11:30～)	メニュー考案 IVCS 栄養士	1日目 40食完売 2日目 65/70食	青山キャンパス 学生食堂
睡眠セミナー (7/17 と同一テーマ)	1/15	保健管理センター 非常勤精神科医	3名	青山キャンパス 保健管理センター
ヘルシー定食提供 (風邪予防)	1/22・23(11:30～)	メニュー考案 IVCS 栄養士	1日目 40食完売 2日目 70食完売	青山キャンパス 学生食堂

*イベント関連、ヘルシー定食提供の対象者は学生及び教職員を対象に実施

学生の集団健康教育は、セミナーとイベント方式の二つの方法で実施した。

青山キャンパスでは「睡眠」「留学生の旅行医学」「バランスの良い弁当」「姿勢改善」「新型タバコのリスク」をテーマにセミナーを開催し、講師は保健管理センター非常勤医師、外部講師（医師）、フィットネスセンター管理栄養士・トレーナーがそれぞれ担当した。保健管理センター主催の自主参加型セミナーに関しては参加者が少ないことが例年課題となっているが、少人数の参加者であっても毎回一定数の需要はあるため、学生のニーズの把握やアナウンス手段の検討に努めながら、今後もセミナーは継続していく予定である。イベント方式は不特定多数の学生及び教職員を対象に、ここ数年恒例開催となっているヘルシー定食関連のイベントと、世界禁煙 Day・世界エイズ Day 関連のイベントを開催した。

相模原キャンパスでは、「健康（野菜・砂糖の摂取量、筋肉量と体脂肪率）」「睡眠」「体力測定」をテーマにセミナーやイベントを開催した。視覚媒体・体験を通して学習できるよう工夫し、学生が健康づくりに対してより具体的なイメージを持つことができるよう努めた。

今後は両キャンパス間で連携を図り、より有効な集団健康教育方法を考え、取り組んでいく方針である。

⑥感染症罹患報告者数

疾患名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インフルエンザ	34	8	2	2	0	0	8	3	47	42	0	0	146
伝染性単核球症疑い	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
百日咳の疑い	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
感染性胃腸炎	0	2	1	1	1	0	0	0	3	3	0	0	11
水痘	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
流行性角結膜炎	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	35	10	5	4	1	0	8	3	50	45	0	0	161

感染症罹患報告者総数は161名であり、インフルエンザの報告が全体の9割以上を占めている。

2019年度のインフルエンザの流行は、全国的には例年より2ヶ月以上早い9月の中旬頃から始まり、12月中旬にいったん流行のピークを迎え、1月中旬頃には罹患数は減少に転じた。大学でも全国的な流行に合わせるように、12月のインフルエンザ罹患報告数は昨年の7件から47件と増加し、1月のインフルエンザ罹患報告数は177件から42件と大幅に減少した。

一方、中国の武漢から感染拡大が始まった新型コロナウイルス感染症の問題が、1月中旬頃から日本でも表面化し始めた。時間の経過と共に世界規模で急速に感染が広まっていく中、保健管理センターとしては大学内での感染拡大防止のために、新年度を前に早い段階で学生健康診断の延期決定を行った。しかし年度末の時点で、国内の感染拡大が予断を許さない状況となっており、今後も引き続き感染状況に応じた対応を考えていく必要がある。それと共に、平常時とは違う状況下での、学生及び教職員の心身両面のケアにどのように対応していくかを考え、取組んでいく必要がある。

⑦学生の休学・退学者数

休学・退学事由		青山キャンパス	相模原キャンパス	合計
病気療養による 休学者数	精神疾患	25	7	32
	内科疾患・その他疾患	6	4	10
	合計	31	11	42
病気療養による 退学者数	精神疾患	4	1	5
	内科疾患・その他	5	0	5
	合計	9	1	10
死亡退学者数		3	0	3

2019年度の病気療養による休学者数は例年と大きな変化はない。病気療養による休学者のうち、精神疾患の占める割合は76.2%であった。病気療養による退学者のうち、精神疾患の占める割合は50%であった。前年度と比較すると病気療養による休学・退学の精神科疾患による割合は減少傾向にあった。しかし精神疾患を抱えた学生は学業継続が困難になる場合も多く休学を繰り返したり退学に至るケースもあるため、休学に至る前や復学してからも安心して学生生活を送れるよう学生が気軽に相談に訪れる事ができる場として、今後も保健管理センターの認識を高めていく必要がある。

3. 教職員定期健康診断

①教職員定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）

*総対象者数、項目別受診者数は2019年11月3日現在の実数をカウント

*受診者数は2019年度より開始した未受診者救済のためのフォローアップ健診受診者数を含む（2019年10月～12月）

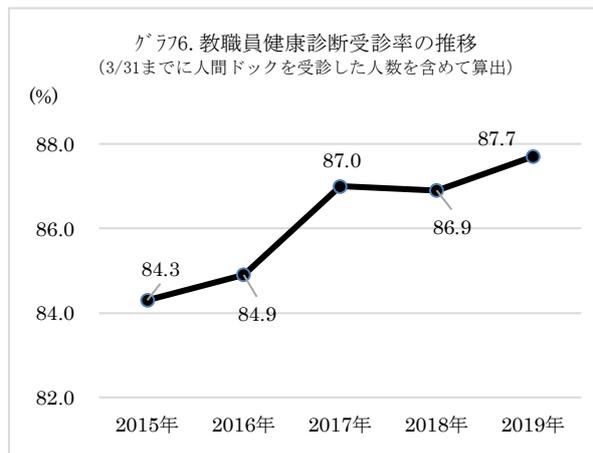
*人間ドック受診者数は2020年3月31日までに提出済み人間ドック受診者数をカウント

青山キャンパス

所 属	総対象者数	受診者数	人間ドック受診者数	受診率 %	項目別受診者数											
					レントゲン	心電図	血圧	尿	血液	視力	聴力	計測	腹囲	免疫学的便潜血反応	肝炎ウイルス検査	生活調査
大学本務教員	378	251	42	77.5	231	221	240	238	232	240	240	240	218	208	20	240
大学兼務教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本務職員(本部・大学)	352	274	60	94.9	265	164	269	266	232	268	269	269	160	137	13	269
兼務職員	81	67	9	93.8	64	47	64	62	54	64	64	64	44	39	14	64
幼稚園・本務兼務教職員	15	14	1	100.0	13	9	14	14	10	14	14	14	7	7	2	14
合計	826	606	112	86.9	573	441	587	580	528	586	587	587	429	391	49	587
有所見者数					30	94	102	18	399	85	22	125	145	14	11	

相模原キャンパス

所 属	総対象者数	受診者数	人間ドック受診者数	受診率 %	項目別受診者数											
					レントゲン	心電図	血圧	尿	血液	視力	聴力	計測	腹囲	免疫学的便潜血反応	肝炎ウイルス検査	生活調査
大学本務教員	231	172	25	85.3	158	110	160	158	135	160	159	160	109	96	23	160
大学兼務教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本務職員(本部・大学)	97	80	14	96.9	77	51	80	79	74	80	80	80	49	47	7	80
兼務職員	58	49	5	93.1	46	40	47	46	43	47	47	47	40	38	5	47
合計	386	301	44	89.4	281	201	287	283	252	287	286	287	198	181	35	287
有所見者数					37	27	29	13	168	32	19	99	65	6	2	



2015年度より、保健管理センター、安全衛生委員会、人事部で、健康診断未受診者に対する働きかけを強化してきた効果が現れ、2018年度に前年度を若干下回ったものの2019年度には回復し上昇している。教職員健康診断の代替えとしての人間ドック結果の提出も徐々に徹底されてきており、2019年度から健診後12月までフォローアップ健診を行った事も受診率向上の一因になるかもしれない。教員の受診率は職員と比べ依然として低い状況である。受診奨励をしているにも関わらず、健康診断未受診者も一定数おり、今後も引き続き、受診率向上への働きかけは必要である。

②教職員定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）

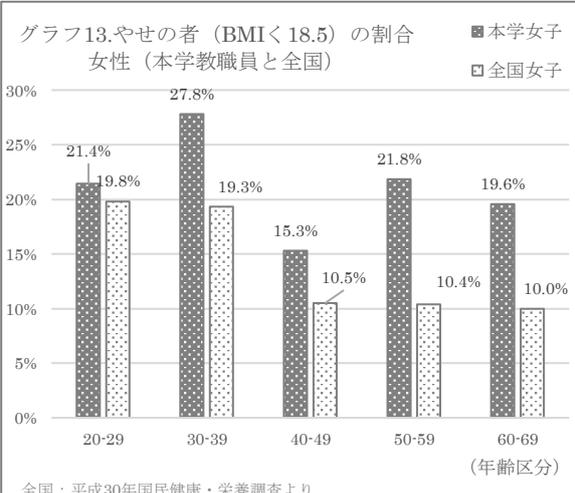
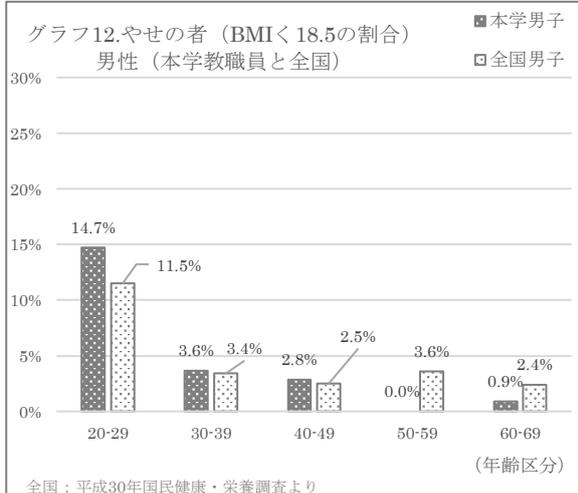
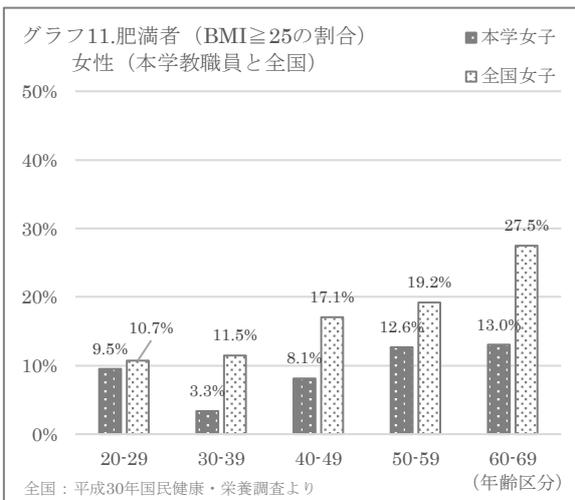
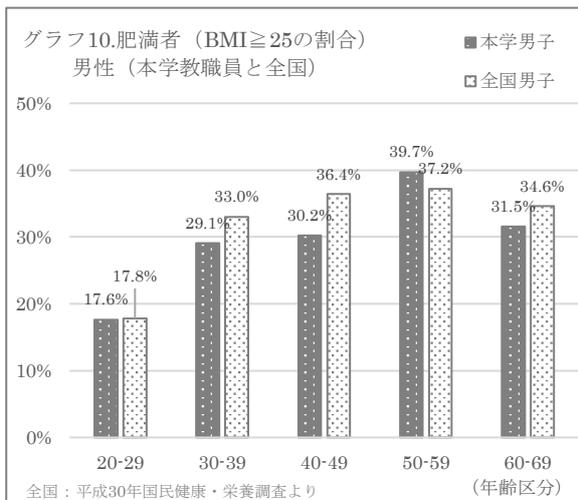
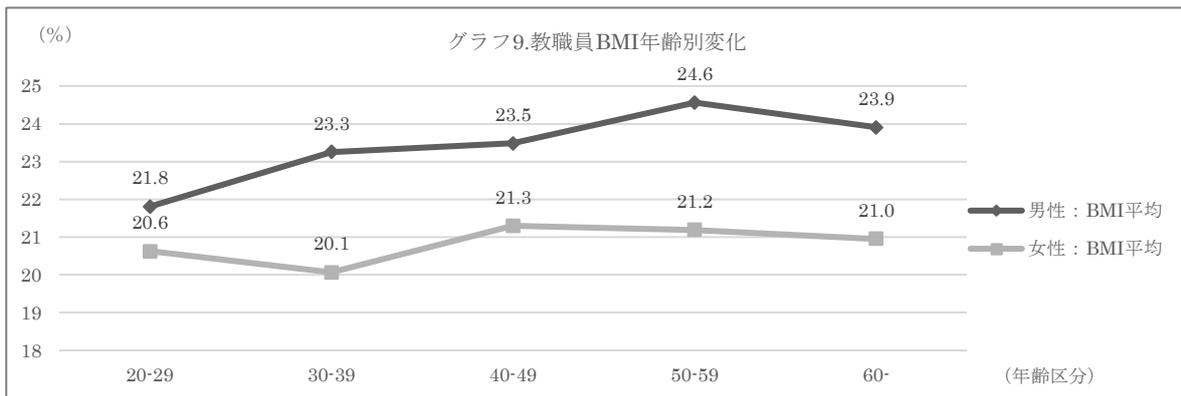
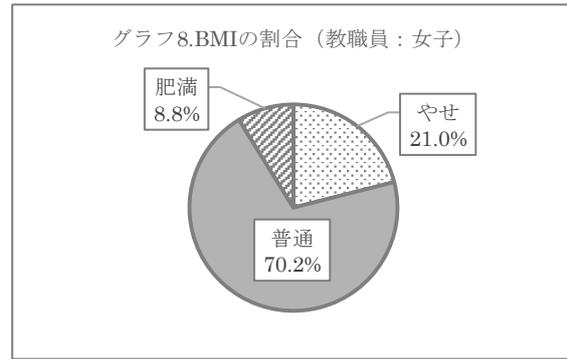
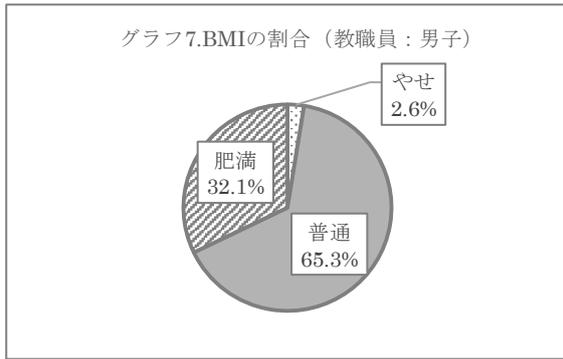
健診項目	有所見者数	有所見率 (%)	有所見者の経過			
			問題なし	要経過観察	要治療又は治療中	未来室
胸部レントゲン	67	7.8	51	非結核性抗酸菌 (1) 結核治癒後 (1) 索状陰影 (3), 間質陰影 (1) 肺野陰影 (2), 無気肺 (2) その他 (5)	0	1
心電図	121	18.8	42	I度房室ブロック (8) 不完全右脚ブロック (6) 完全右脚ブロック (3) 期外収縮 (4), プルガダ型疑 (3) 異常Q波 (疑) (3) その他 (41)	I度房室ブロック (1) 完全右脚ブロック (1) 心房細動 (1), 期外収縮 (1) 左室肥大 (2), 上室性頻拍 (1) 心拍過多 (1), 右軸偏位 (1) 高血圧 (1), 心筋梗塞後 (1)	0
血圧	131	15.0	4	高血圧 (77)	高血圧 (45) 腎不全 (1) 受診結果未報告 (1)	3
尿検査	31	3.6	8	潜血尿 (1) 血尿蛋白尿 (1) 蛋白尿 (2) 尿糖 (2)	糖尿病 (10) 水腎症 (1) IgA腎症 (1) 蛋白尿 (1) 受診結果未報告 (2)	2
血液検査	567	72.7	1	脂質異常症 (258) 肝機能障害 (145) 耐糖能異常 (244) 白血球数異常 (21) 腎機能異常 (17) 尿酸値異常 (17) 貧血 (57)	脂質異常症 (67) 肝機能障害 (6) 糖尿病 (23) 白血球数異常 (15) 腎機能障害 (8) 高尿酸血症 (11) 貧血 (12)	12
肝炎ウイルス検査	13	15.5	0	HBs抗体 + (12)	HBs抗原 + (1)	0
免疫学的便潜血反応	20	3.5	0	3	内痔核 (1) 受診結果未報告 (14)	2

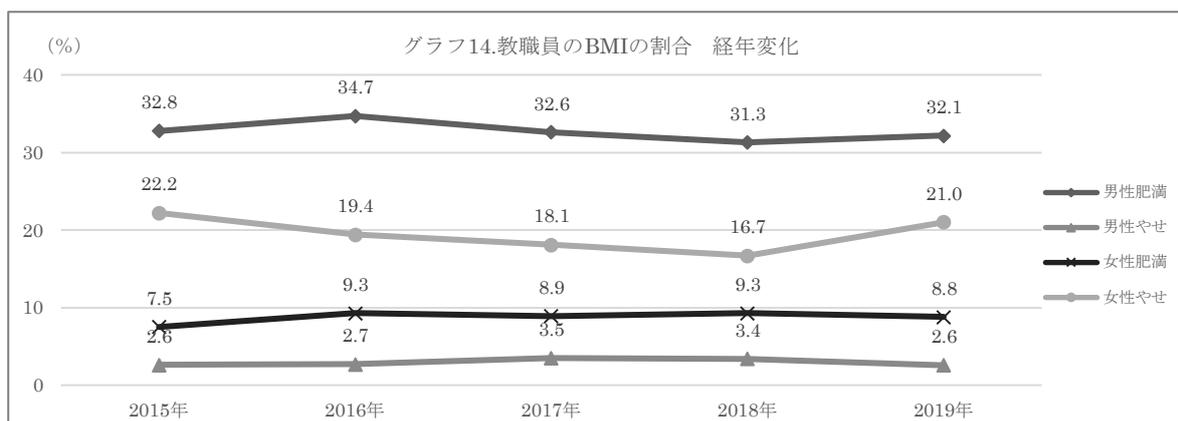
教職員健康診断における有所見者数は延べ950人であった。項目別有所見率でみると、脂質異常症や耐糖能異常、肝機能障害等、血液検査の有所見率が最も高く72.7%となっており、昨年度と比較し、6.1%上昇がみられている。中でも耐糖能異常の者が増加しており、生活習慣病の増加は課題となっている。

こうした健康診断の事後措置として、ハイリスク者に対し、個別に受診勧奨や保健指導を実施することで、医療が必要な者を治療に繋げ、生活習慣の振り返りと改善を促している。また、集団への働きかけとして、集団健康教育(3-⑤)を通じてより多くの教職員の健康増進を図っているが、今後は、教職員の健康管理への意識を向上するため、さらなる強化や仕掛けが必要であると考え。

③教職員の身体状況（肥満とやせ）

本学：教職員健康診断受診者 男性507人、女性376人より算出 (2019年11月3日現在)





教職員の体格指数（BMI）の割合は、男性の肥満 32.1%、やせ 2.6%、女性の肥満 8.8%、やせ 21.0%であった。前年度と比較して男性の肥満は 0.8%の増加、女性の肥満は 0.5%減少し、男性のやせは 0.8%減少、女性のやせは 4.3%増加した。平成 30 年「国民健康・栄養調査」と比較した場合、男性の肥満は 50 代のみが全国平均を上回った。女性の肥満は全年代で全国平均を下回っている。男性のやせは 20 代から 40 代で全国平均を上回り 50 代は 0%だった。女性のやせは全年代で全国平均を上回っている。運動不足や食習慣に起因する傾向も考えられるので、今後も保健指導や健康教育の充実を図り、生活習慣の改善や疾患の予防につながるようになっていきたい。

④教職員に対する風疹抗体検査・予防接種

厚生労働省より、2019 年度から 3 年間にわたり、風しん抗体保有率の低い世代の男性に対する予防接種・抗体検査が各自治体にて実施されている。本学においては、対象者に対し学内の定期健康診断の機会を活用して風しんの抗体検査を実施した。

さらに、上記の対象者以外かつ市町村の費用補助対象外の者で、抗体検査・予防接種を希望する教職員には、安全衛生委員会事務局である総務部安全対策課主導により、抗体検査及び予防接種費用の補助を行った。

【学内の定期健康診断時の風しん抗体検査実施状況】

対象者 (S37.4.2～S54.4.1 生まれの男性)	抗体検査実施人数	実施率
309 名	56 名	18.1%

本学における、対象者の抗体検査実施率は 18.1%であった。全国平均では 16%、都道府県別でみると東京都 13%と低値であるため、職種における抗体検査実施の有効性がみられた。

上記の対象者以外で抗体検査を実施した者は、46 名であった。学内においても、風しん感染防止のためには、抗体がない人がワクチンを接種して抗体を持つことが重要になるので、引き続き抗体検査やワクチン接種を呼びかけていきたい。

⑤保健指導と集団健康教育

【保健指導】

青山キャンパスでは、通常の健康診断事後措置（医師面談・受診推奨）と共に、教職員に対して保健指導を行っている。2019年度の保健指導対象者は216名であり、その内46名に対して保健指導を実施した。

また昨年度より引き続き青山・相模原両キャンパスで教職員健康診断の有所見者258名を対象に、フィットネスセンターの管理栄養士による食事指導を受ける機会を設定したが、昨年の利用率6.1%を下回る2.7%であった。

生活習慣病は偏った食事や運動不足などが主な原因のため、保健指導や食事指導の機会を通じて生活習慣病の改善や予防への働きかけが必要であり、今後もより多くの教職員が利用できるような環境を整えながら継続していく方針である。

【集団健康教育】

健康教育テーマ	実施日	講師・相談員等	参加人数	実施場所
新任事務職員研修 ・入職しておこる変化 ・社会人としての健康管理 ・青山学院の健康サポート体制	4/4	保健師	新任職員 約30名	青山キャンパス 新任職員研修会場
総合防災訓練応急救護班訓練内容企画・実施 ・「大規模災害発生初動期の応急救護班の役割分担について」講義(20分) ・災害対策本部との無線連絡訓練(15分) ・担架による傷病者搬送訓練(10分) ・傷病者応急救護訓練(40分)	9/17	保健師・看護師 保健管理センター事務 職員	職員 応急救護班 32名	青山キャンパス 17302教室、 17304教室
教職員健康診断時健康教育ブース設置 ・「睡眠」に関するスライド上映(第4会議室) ・「生活習慣から見直す心の健康」に関するDVD上映(610教室) ・2018年度教職員健康診断時の睡眠に関するアンケート結果、睡眠、タバコの啓発ポスター展示	9/24～27 (9:00～16:00)	保健師・看護師	イベントのため カウントせず	青山キャンパス 教職員健康診断会場 (第4会議室) 610教室
「デスクでできる姿勢改善～20分間」プチセミナー ・姿勢改善のための、指、前腕、肩、お尻のレスプロ エクササイズ実演	9/24 (13:30～13:50)	フィットネスセンタートレーナー	教職員・学生 22名	青山キャンパス 610教室
「新型タバコの本当のリスク」プチセミナー ・新型タバコの定義 ・新型タバコの有害性	9/26 (14:30～15:00)	保健管理センター非常 勤呼吸器内科医師	教職員・学生 9名	青山キャンパス 610教室
「よりよい睡眠を取るためには」プチセミナー ・睡眠不足はなぜ問題なのか ・睡眠と精神機能 ・睡眠と覚醒のメカニズム ・睡眠とアルコール、食事、入浴、運動、昼寝の関係	9/27 (14:30～15:00)	保健管理センター産業 医(精神科医)	教職員・学生 16名	青山キャンパス 610教室
教職員健康診断健康ブース設置 ・肩こり、腰痛予防体操(ポスター掲示) ・砂糖を摂りすぎていませんか?(食品サンプル、ポスター展示) ・野菜を食べよう!(野菜の量を実際に計測できる体験型) ・2018年度睡眠に関するアンケート結果掲示	9/26・27 (9:00～16:00)	保健師	イベントのため カウントせず	相模原キャンパス 教職員健康診断会場 D棟3階

第6回安全衛生委員会ミニ講座「VDT 症候群について」 ・VDT 症候群とは ・VDT 症候群レベルセルフチェック ・VDT 症候群の原因と対策	10/17 (16:30～16:50)	保健師	職員衛生委員 20名	青山キャンパス 15513 教室
LET'S 体力測定！～自分の体力を知ろう ・握力測定 ・ジャンプ力測定 ・トレーニング方法揭示	11/19・20 (9:30～16:00)	保健師 保健管理センター事務 職員	教職員 10 名 学生 19 名	相模原キャンパス 保健管理センター
循環器内科医セミナー「高血圧の対処法」 ・高血圧の疫学と成因 ・高血圧の分類 ・高血圧の検査と診断 ・高血圧治療の基本方針と降圧目標、降圧薬治療	11/19・25 (15:00～15:45)	非常勤循環器内科医	教職員 9 名	青山キャンパス 保健管理センター
第9回安全衛生委員会ミニ講座 「冬の職場の感染症対策～インフルエンザ編～」 ・インフルエンザについて ・職場でのインフルエンザ対応	12/19 (16:30～16:50)	保健師	職員衛生委員 24名	青山キャンパス 15513 教室
職場へのデリバリー体操 ・自席でできる肩こり&腰痛体操	1/15 (12:40～12:55)	フィットネスセンタートレーナー	職員 18 名	事務システム部
手洗いチェッカー体験イベント 「正しい手洗いを身に付けませんか？」 ・手洗いチェッカーを使用して、洗い残しのセルフチェック ・手洗いのタイミング、効果的な手洗いのコツ	2/3～2/14 (14:00～16:00) 2/25～3/13 (9:00～16:00) 3/17、3/18 (各日 1 時間ずつ実施)	保健師	教職員 94 名 学生 8 名	相模原キャンパス 保健管理センター (3/17、3/18 は B 棟 1 階 2 階事務室フロア で開催)

*ヘルシー定食関連の学生教職員対象イベントは学生の集団健康教育の欄参照

青山キャンパスでは、「新任事務職員研修」、「教職員健康診断の機会を利用しての健康ブース設置」、「循環器内科医による生活習慣病予防のためのセミナー」を、毎年テーマを変えながら継続的に実施している。2019 年度は新たに 4 つの集団教育を実施した。まず一つは 9 月の総合防災訓練時の応急救護班訓練を企画・運営し、体験型訓練をメインに大学職員応急救護班が担う役割の確認と応急救護班としての意識を高める事に努めた。次に 9 月の教職員健康診断実施時間内にテーマを変えた 3 つのミニセミナーを開催したが、通常より多くの参加者を得る事ができ、時期と場所を選定し実施した効果があった。また 10 月の安全衛生委員会開催時から衛生委員向けに、衛生委員としての意識向上と健康面での衛生管理に関する知識の取得を目的に定期的なミニ講座を開始した。今後は、各衛生委員による職場環境改善への働きかけにも期待したい。2020 年 1 月には、フィットネスセンターのトレーナーに講師を依頼し、トレーナーが事務室に赴き自席でできる簡単なストレッチ方法を伝授する「職場へのデリバリー体操」を開始した。肩こり等症状の予防以外にも職場内のコミュニケーションが円滑になるといった利点もあり、今後は安全衛生委員会とも連携しながら他部署に広げていくと共に、デリバリー体操をきっかけにした継続的なセルフケアの働きかけも考えていく必要がある。

相模原キャンパスでは、学生と同様に視覚媒体や体験を通して健康について理解を深めることができるよう工夫し、3 つの企画を開催した。現物の野菜を使用して、野菜の 1 日摂取目標量を実際に計量しながら摂取する目的やそれぞれの特徴・効果を学習する企画、手洗いチェッカーを使用して普段の手洗いを検証する体験イベントは特に好評で、自己効力感向上の支援に繋がったと考えられる。社会情勢に応じたテーマの選定、健診の待ち時間の利用や教職員が立ち寄りやすいフロアでの開催など、今後も教職員の健康に対する意識を高める工夫を重ねていきたい。

⑥教職員の休職・復職者数(対象:学院全体)

休職・復職事由	青山キャンパス			相模原キャンパス		
	休職	復職	再休職	休職	復職	再休職
精神的疾患	5	1	0	0	1	0
身体的疾患	4	1	0	0	0	0
合計	9	2	0	0	1	0

※全職員の母数は、セカンダリー専任職員も含む

上記は療養就業規則上の休職者数である。全教職員に対する休職者の割合は、0.7%である。精神的疾患においては新規で休職するケースが多かった。身体的疾患では慢性疾患が多く、1年以上の長期休職者が増えている。また長期休職者のうち復職支援プログラムを適用して復職したケースが2件あり、所属長や人事など関係部署と連携のもと実施された。復職後も定期的な産業医面談によるフォローや就業上配慮を継続し、復職の定着率の強化や再休職の防止に繋げている。

⑦長時間労働者への産業医による面接

過重労働による健康障害を防止するため、安全衛生法に従って、長時間労働者（事務職員）に対して産業医による面接指導を実施している。

【面接指導対象者、及び指導項目】

残業時間（月）	疲労度チェック※1	産業医面接
法定外70時間越え	○	必須
法定外60時間越え	○	考慮※2

※1：対象者に対しては産業保健スタッフよりメールにて回答方法を案内。

※2：本人の面談希望、疲労度チェック（厚生労働省推奨）の結果、健康診断などにより産業医が実施について判断。

面接指導対象者数

対象者・指導項目	月												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
残業時間法定外70時間超え対象者数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
残業時間法定外60時間超え対象者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
疲労度チェック回答数	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5
医師面談数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

これまで法定外80時間を越える長時間労働者（管理職を含む事務職員）にたいしては産業医による面接指導を実施してきたが、時間外労働及び休日労働に関する協定書の更新に伴い、労働時間を越えて延長できる時間数が1カ月80時間となるため、面接指導の対象となる法定外労働時間が今年度より法定外70時間越えに変更された。

2018年度は、法定外80時間超え4名を含めて60時間超えが15名であったが、今年度は法定外70時間超え2名、法定外60時間超え1名と減少し、産業医の面接指導後に就業上の配慮を要するものはいなかった。本学での長時間労働者は減少傾向にはあるが、引き続き長時間労働による脳・心臓疾患やメンタルヘルス不調者の早期発見に努め、早期対処を図りたい。

⑧ストレスチェック受検率に関する報告(対象:学院全体)

2014年の労働安全衛生法の改正により、従業員のストレスチェックが事業者に対し義務付けられた。本学では2016年度から実施し、今回4回目の実施となった。

【実施期間】 2019年11月11日～11月30日

【対象】 定期健康診断対象者で2019年10月1日時点在籍の教職員
(幼稚園・初等部・中等部・高等部の教職員を含む)

【実施方法】 ティーペック(株) ストレスチェック web システムを採用(若干名、ペーパー受検者あり)

【周知方法】 ストレスチェック実施説明会、教職員ポータル、学部長会、教授会、事務連絡会等

全体受検率

年度	対象人数	受検人数	受検率 (%)
2019年度	1520	1047	68.9
2018年度	1508	1006	66.7
2017年度	1527	1040	68.1
2016年度	1503	914	60.8

2019年度の受検率は学院全体で68.9%であった。受検率は昨年より2.2%上昇しているものの、3割弱の教職員は未受検であり、引き続き、受検案内に関する周知や勧奨の方法を検討していく必要がある。

高ストレス判定者の抽出に関しては、厚生労働省の定めた判定基準を採用し実施しているが、集団ごとの集計・分析の結果は、昨年同様、学院全体としてのストレス状態は平均的、もしくはやや低い状態との結果であった。集団分析結果は基幹部署より所属長にフィードバックが行われている。今後は、フィードバック後の対応について所属長へのヒアリングを基幹部署が中心となって実施し職場環境改善に努めていく必要がある。

4. その他の法定健康診断

①特殊健康診断（相模原キャンパス）

1) 特殊健康診断実施者数

(2020年3月31日現在)

項目	内訳	対象者数 (人)			受診者数 (人)			受診率 (%)		
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計
春期特殊健康診断		42	239	281	42	239	281	100	100	100
内訳	電離放射線	33	195	228	33	195	228	100	100	100
	有機溶剤	14	-	14	14	-	14	100	-	100
	特定化学物質	21	-	21	21	-	21	100	-	100
	有機溶剤・特化物	-	86	86	-	86	86	-	100	100
秋期特殊健康診断		44	3	47	44	3	47	100	100	100
内訳	電離放射線	36	3	39	36	3	39	100	100	100
	有機溶剤	13	-	13	13	-	13	100	-	100
	特定化学物質	20	-	20	20	-	20	100	-	100

※四捨五入

2) 電離放射線健康診断結果

(2020年3月31日現在)

項目	内訳	実施者数 (人)			有所見者数 (人)			有所見率 (%)			所見あるも問題なし (人)		経過観察 (人)		再検査・精査 (人)		病院受診	
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生		
春期	白血球数・白血球百分率検査	33	195	228	6	42	48	18.2	21.5	21.1	5	39	1	0	0	3	0	0
	赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値	33	195	228	4	12	16	12.1	6.2	7.0	3	11	1	0	0	0	0	1
	白内障に関する眼の検査	33	195	228	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮膚の検査	33	195	228	2	8	10	6.1	4.1	4.4	2	8	0	0	0	0	0	0
	自覚症状	33	195	228	4	34	38	12.1	17.4	16.7	3	34	1	0	0	0	0	0
	電離放射線使用による健康被害	33	195	228	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋期	白血球数・白血球百分率検査	36	3	39	8	0	8	22.2	0.0	20.5	7	0	1	0	0	0	0	0
	赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値	36	3	39	4	0	4	11.1	0.0	10.3	4	0	0	0	0	0	0	0
	白内障に関する眼の検査	36	3	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮膚の検査	36	3	39	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自覚症状	36	3	39	7	1	8	19.4	33.3	20.5	7	1	0	0	0	0	0	0
	電離放射線使用による健康被害	36	3	39	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0

※四捨五入

3) 有機溶剤健康診断結果 ※学生は特定化学物質健康診断も兼ねて集計

(2020年3月31日現在)

項目	内訳	実施者数 (人)			有所見者数 (人)			有所見率 (%)			所見あるも問題なし (人)		経過観察 (人)		再検査・精査 (人)		病院受診		
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	
春 期	蛋白尿	14	86	100	0	3	3	0.0	3.5	3.0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
	赤血球数・血色素量	-	86	86	-	6	6	-	7.0	7.0	-	5	-	0	-	0	-	-	1
	肝機能検査 (GOT・GPT・γ-GTP)	5	86	91	1	11	12	20.0	12.8	13.2	0	7	1	0	0	1	0	0	3
	尿代謝物検査	12	-	12	0	-	0	0.0	-	0.0	0	-	0	-	0	-	0	-	-
	自覚症状	14	86	100	3	16	19	21.4	18.6	19.0	3	16	0	0	0	0	0	0	0
	他覚症状	14	86	100	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	有機溶剤による健康障害	14	86	100	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋 期	蛋白尿	13	-	13	0	-	0	0.0	-	0.0	0	-	0	-	0	-	0	-	-
	赤血球数・血色素量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	肝機能検査 (GOT・GPT・γ-GTP)	4	-	4	1	-	1	25.0	-	25.0	1	-	0	-	0	-	0	-	-
	尿代謝物検査	11	-	11	0	-	0	0.0	-	0.0	0	-	0	-	0	-	0	-	-
	自覚症状	13	-	13	2	-	2	15.4	-	15.4	2	-	0	-	0	-	0	-	-
	他覚症状	13	-	13	0	-	0	0.0	-	0.0	0	-	0	-	0	-	0	-	-
	有機溶剤による健康障害	13	-	13	0	-	0	0.0	-	0.0	0	-	0	-	0	-	0	-	-

4) 特定化学物質健康診断結果

(2020年3月31日現在)

項目	内訳	実施者数	有所見者数	有所見率	所見あるも	経過観察	再検査・精	病院受診
		(人)	(人)	(%)	問題なし	(人)	査(人)	(人)
		教職員	教職員	教職員	教職員	教職員	教職員	教職員
春 期	自覚症状	21	4	19.0	4	0	0	0
	他覚症状	21	0	0.0	0	0	0	0
	尿蛋白	15	0	0.0	0	0	0	0
	尿潜血	2	0	0.0	0	0	0	0
	尿沈査	1	0	0.0	0	0	0	0
	尿ウロビリノーゲン	1	0	0.0	0	0	0	0
	尿中マンデル酸	1	0	0.0	0	0	0	0
	胸部直接撮影	4	0	0.0	0	0	0	0
	白血球数	18	0	0.0	0	0	0	0
	赤血球数・色素量 ヘマトクリット値・全血比重	18	4	22.2	4	0	0	0
	肝機能検査 (GOT・GPT・ γ -GTP T-BiL・ALP)	14	3	21.4	0	3	0	0
	血清インジウム	2	0	0.0	0	0	0	0
	KL-6	2	0	0.0	0	0	0	0
	握力	1	0	0.0	0	0	0	0
	鼻の検査	3	0	0.0	0	0	0	0
	皮膚の検査	9	0	0.0	0	0	0	0
	特定化学物質による健康障害	21	0	0.0	0	0	0	0
秋 期	自覚症状	20	4	20.0	4	0	0	0
	他覚症状	20	0	0.0	0	0	0	0
	尿蛋白	13	1	7.7	1	0	0	0
	尿潜血	2	0	0.0	0	0	0	0
	尿沈査	1	1	100	1	0	0	0
	尿ウロビリノーゲン	1	0	0.0	0	0	0	0
	尿中マンデル酸	1	0	0.0	0	0	0	0
	胸部直接撮影	3	0	0.0	0	0	0	0
	白血球数	5	1	20.0	1	0	0	0
	赤血球数・色素量 ヘマトクリット値・全血比重	5	0	0.0	0	0	0	0
	肝機能検査 (GOT・GPT・ γ -GTP T-BiL・ALP)	16	4	25.0	4	0	0	0
	血清インジウム	2	0	0.0	0	0	0	0
	KL-6	2	0	0.0	0	0	0	0
	握力	1	0	0.0	0	0	0	0
	鼻の検査	3	0	0.0	0	0	0	0
	皮膚の検査	7	0	0.0	0	0	0	0
	特定化学物質による健康障害	20	0	0.0	0	0	0	0

2019年度特殊健康診断対象者の健康診断受診率は100%であった。有所見率は前年度に比較すると増加したが、業務起因性を有すると判断されたケースはなかった。

②雇入時の健康診断

1) 雇入れ時健康診断受診者数 *外部医療機関にて実施*

(2020年3月31日現在)

月 所属	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本部	11	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	14
大学	88	5	0	1	0	5	11	2	3	1	0	0	116
女子短期大学	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
高等部	6	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8
中等部	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
初等部	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
幼稚園	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
合計	129	5	1	1	0	5	12	3	4	2	0	0	162

2) 雇入時の健康診断有所見者の経過

検査項目	有所見者数	再検査	経過観察	病院受診・治療中	病院受診結果
胸部レントゲン	11	0	6	5	異常なし (5)
心電図	32	0	30	2	経過観察 (2)
血圧	15	0	15	0	
尿検査	2	1	1	0	
血液検査	82	0	72	10	経過観察 (1) 内服治療 (3) 治療中 (2) 未受診 (4)

雇入時健康診断実施者は162名で平均年齢は38.6歳であった。そのうち有所見者は延べ142名であり有所見で多いのは血液検査の中でも脂質異常症55名、糖代謝異常28名、肝機能障害23名と昨年同様生活習慣病関連項目の有所見率が高かった。新任事務教職員研修では保健師が「社会人としての健康管理」「健康サポート体制」等について講演や、教職員健康診断後の保健指導対象者として健康診断結果を基に、身体面・精神面を含めた健康支援を実施している。

③特定業務従事者健康診断

2019年度の特定業務従事者健康診断対象者は1名（深夜業を含む業務に従事する者）であり、予定通り実施した。

5. 健康診断証明書発行業務

①青山キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2020年3月31日現在)

内訳		月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		人数	枚数													
自動 発行 内 訳	1年生	人数	6	30	21	18	4	9	11	1	6	5	1	2	114	
		枚数	6	31	21	18	4	9	11	1	6	5	1	2	115	
	2年生	人数	4	10	14	11	2	2	4	2	2	1	1	0	53	
		枚数	4	10	14	11	2	2	4	2	2	1	1	0	53	
	3年生	人数	3	11	20	34	44	31	27	3	11	16	26	104	330	
		枚数	3	12	20	34	44	31	28	3	11	16	28	125	355	
	4年生	人数	155	797	438	273	96	181	87	39	28	40	16	37	2187	
		枚数	206	932	472	301	109	187	93	40	33	41	19	38	2471	
	大 学 院 生	人数	3	12	9	3	1	2	1	0	2	1	4	5	43	
		枚数	3	12	9	3	1	3	1	0	2	1	4	6	45	
	専門職大 学院生	人数	1	2	3	2	0	2	2	1	2	2	0	3	20	
		枚数	2	2	3	2	0	4	2	1	2	2	0	4	24	
	科目等 履修生	人数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
		枚数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
窓口発行 <small>含英文診断書</small>	人数	1	5	6	4	14	6	1	4	4	0	2	13	60		
	枚数	1	6	6	4	15	6	1	4	4	0	2	14	63		
合 計	人数	174	867	512	345	161	233	133	50	55	65	50	164	2809		
	枚数	226	1005	546	373	175	242	140	51	60	66	55	189	3128		

②相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2020年3月31日現在)

内訳		月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		人数	枚数													
自動 発行 内 訳	1年生	人数	3	3	7	8	1	4	3	2	2	1	0	0	34	
		枚数	3	3	7	8	1	4	3	2	2	1	0	0	34	
	2年生	人数	1	4	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	15	
		枚数	1	4	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	15	
	3年生	人数	1	4	7	7	14	5	6	4	4	14	15	23	104	
		枚数	1	4	7	7	14	5	6	4	4	21	18	28	119	
	4年生	人数	49	160	84	63	27	27	15	14	6	5	4	5	459	
		枚数	61	184	89	67	34	29	15	17	6	5	4	5	516	
	大 学 院 生	人数	13	40	20	4	2	8	5	5	2	3	6	23	131	
		枚数	14	43	21	5	2	8	5	5	2	3	7	32	147	
	科目等 履修生	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	窓口発行 <small>含英文診断書</small>	人数	0	7	3	1	1	3	2	1	0	0	0	1	19	
		枚数	0	7	3	1	1	3	2	1	0	0	0	1	19	
合 計	人数	67	218	127	87	45	47	31	26	14	23	25	52	762		
	枚数	80	245	133	92	52	49	31	29	14	30	29	66	850		

青山キャンパスの健康診断証明書発行枚数は年々減少し続け、例年あまり変化の無かった相模原キャンパスでも減少している。2015年度に比べ両キャンパスとも約半数近くまで減少している。全体的な減少の要因は、4年生と大学院生が約半数減少している事と考えられる。

窓口発行に関しては、それほど大きな変化はない。

6. 救急処置・検査等保健管理センター利用状況

①青山キャンパス

(学生・教職員別利用者数)

(2020年3月31日現在)

所属	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	学生	男	187	126	103	81	8	22	47	62	103	49	12	10
女		1106	254	172	212	21	44	143	162	182	74	22	8	2400
教職員	男	19	10	19	25	9	30	45	50	27	26	16	28	304
	女	20	21	23	32	11	39	69	47	36	20	23	27	368
その他		14	9	13	19	16	4	8	9	14	6	37	1	150
合計		1346	420	330	369	65	139	312	330	362	175	110	74	4032

(検査・処置等利用内容別件数)

検査処置項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	検査	血圧	19	15	26	21	13	10	18	15	15	8	8	3
検尿		853	31	6	3	1	4	46	10	5	1	1	0	961
検便		0	3	6	19	11	8	26	3	0	3	0	0	79
血液		9	0	3	0	0	0	0	1	1	0	1	0	15
視力		25	7	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	38
心電図		0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
計測		52	47	60	70	10	12	44	54	49	41	33	4	476
聴力		0	2	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	6
自動血圧計		24	68	62	20	0	20	16	82	46	17	2	23	380
体脂肪計		0	16	20	3	0	1	0	1	24	0	0	0	65
処置	投薬	7	13	16	18	5	1	11	11	10	0	3	0	95
	処置	54	62	66	98	18	26	62	50	27	23	19	9	514
	ベッド休養	62	85	87	115	20	21	85	82	75	54	30	0	716
	医師診療	106	37	28	27	3	14	22	26	47	22	45	22	399
	病院紹介	41	18	19	16	0	8	12	19	11	14	1	5	164
	救急車	1	2	1	0	0	0	0	4	3	0	2	0	13
	病院搬送	2	0	0	2	1	0	0	1	0	1	0	0	7
	保健指導	72	76	27	3	5	26	23	72	32	11	0	0	347
	問診調査・相談	142	101	66	63	14	36	32	60	142	38	30	36	760
合計	1469	585	497	482	101	187	397	491	491	233	175	102	5210	

(症状・疾患別利用者数)

症状・疾患	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃腸症状		11	17	10	18	5	4	11	6	6	11	6	1	106
感冒		15	24	45	36	2	2	19	29	35	21	6	2	236
頭痛		14	14	15	26	2	3	14	7	14	12	5	0	126
気分不快		27	34	47	50	9	11	42	36	25	14	18	0	313
貧血		3	3	2	3	0	0	0	3	0	0	1	0	15
切傷		5	2	4	5	0	1	3	3	2	2	1	4	32
外傷		14	27	24	35	7	13	30	16	7	9	3	4	189
化膿		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
捻挫・打撲		14	14	6	14	1	4	6	6	4	1	0	0	70
骨折・脱臼		2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
腰・筋肉痛		2	0	4	4	0	0	6	0	1	1	1	0	19
火傷		3	5	3	4	0	2	3	6	0	1	0	1	28
皮膚疾患		3	3	10	6	0	1	3	1	8	1	1	1	38
昆虫刺傷		0	3	1	10	0	0	1	0	0	1	0	0	16
眼疾患		1	1	3	5	1	1	2	3	1	0	0	1	19
歯疾患		2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	5
耳鼻科疾患		0	1	2	2	1	0	0	0	4	1	0	0	11
生理痛		11	9	11	17	4	4	10	18	12	6	6	0	108
泌尿器疾患		0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0	4
口腔疾患		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
精神疾患		25	28	16	32	2	9	35	25	27	27	8	7	241
その他の疼痛		3	0	4	3	1	0	4	4	4	2	0	0	25
その他		17	15	19	18	6	20	8	18	33	18	32	43	247
合計		172	200	227	289	41	75	198	184	183	129	90	65	1853

青山キャンパス保健管理センターの来室者数は昨年度とほぼ同数である。

利用状況では、ベッド休養での利用者数が昨年の 598 件から 716 件と増加しているが、メンタル的な問題を抱える学生が休憩時間等に利用する割合がやや増えた印象である。

②相模原キャンパス

(学生・教職員別利用者数)

(2020年3月31日現在)

所属		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	男	123	131	67	50	11	24	31	41	30	11	7	4	530
	女	287	102	46	36	3	17	29	30	20	9	2	3	584
教職員	男	12	10	12	8	2	23	34	40	11	18	16	23	209
	女	4	7	3	4	2	14	37	23	10	7	3	6	120
その他		1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	2	8
合計		427	250	128	99	19	78	132	135	71	45	29	38	1451

(検査・処置等利用内容別件数)

検査処置項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査	血圧	5	24	25	14	2	6	7	5	4	0	1	0	93
	検尿	216	34	2	1	0	0	15	3	0	1	1	0	273
	検便	0	0	0	10	4	4	14	3	0	0	0	0	35
	血液	6	1	4	0	0	7	2	0	0	0	0	0	20
	視力	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8
	心電図	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	計測	14	45	15	19	4	8	16	12	21	5	4	9	172
	聴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	自動血圧計	40	122	112	76	15	58	23	80	18	51	26	20	641
体脂肪計	4	46	19	32	6	5	2	20	1	2	0	11	148	
処置	投薬	5	8	2	7	1	2	8	4	2	1	0	1	41
	処置	16	16	19	20	2	6	19	15	16	2	5	0	136
	ベッド休養	7	15	13	15	5	7	17	6	11	3	1	1	101
	医師診療	56	17	15	15	2	11	18	22	18	11	8	2	195
	病院紹介	4	3	5	2	1	2	3	6	9	2	0	0	37
	救急車	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	病院搬送	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
	保健指導	13	40	4	4	0	1	3	7	2	3	3	0	80
	問診調査・相談	137	130	50	20	7	39	36	77	17	28	13	26	580
合計	528	503	287	237	49	160	183	260	119	109	64	70	2569	

(症状・疾患別利用者数)

症状・疾患	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃腸症状	1	6	3	6	1	3	7	2	6	0	0	0	35
感冒	8	4	8	6	1	2	7	8	10	0	1	1	56
頭痛	4	7	4	6	2	1	3	1	3	3	1	0	35
気分不快	0	3	3	3	1	0	3	1	0	0	0	0	14
貧血	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	1	5
切傷	3	1	2	1	0	2	4	1	1	0	0	0	15
外傷	6	9	7	8	2	1	8	8	4	1	0	0	54
化膿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
捻挫・打撲	2	2	1	6	0	0	3	1	1	1	2	0	19
骨折・脱臼	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	2	0	5
腰・筋肉痛	1	2	1	0	0	0	0	2	3	0	0	0	9
火傷	2	1	2	0	0	1	0	1	1	1	0	0	9
皮膚疾患	1	1	3	0	0	0	2	2	0	0	0	0	9
昆虫刺傷	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
眼疾患	0	0	0	1	0	2	0	0	3	0	0	0	6
歯疾患	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
耳鼻科疾患	0	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	5
生理痛	2	2	1	2	0	2	6	1	0	1	0	0	17
泌尿器疾患	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
口腔疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神疾患	11	14	7	5	0	11	6	7	14	9	7	2	93
その他の疼痛	3	1	2	1	0	2	1	0	0	0	1	0	11
その他	1	1	3	6	0	5	3	5	6	1	1	0	32
合計	46	55	51	57	7	34	55	43	53	17	15	4	437

来室者数は、昨年度と比較すると大幅に増加した。コミュニティ人間科学部が4月に新設され、年々学生数が増えているが、救急処置や休養等での利用状況には大きな変化はなかった。今年度は、健康診断における有所見者に対する保健指導や病歴がある者への問診調査の強化、健康啓発イベントの開催等の予防的介入において、主に利用者が増加した。保健指導の強化や教職員や学生が多く利用するB棟に血圧計を設置したことが、血圧・体脂肪計の利用増加に繋がったと考えられる。

7. 各キャンパス業務内容利用状況

①青山キャンパス

1) 保健管理センター全来室者数

(2020年3月31日現在)

来室理由	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康診断者数		12061	0	0	0	0	599	2	4	14	0	0	0	12680
外部受診者数		31	20	19	17	2	13	9	1	1	0	0	2	115
保険診療者数		2	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	9
証明書発行者数		1	5	6	4	14	6	1	4	4	0	2	13	60
保健センター利用者数		1346	420	330	369	65	139	312	330	362	175	110	74	4032
自動血圧計		24	68	62	20	0	20	16	82	46	17	2	23	380
体脂肪計		0	16	20	3	0	1	0	1	24	0	0	0	65
合計		13465	529	438	414	81	779	340	423	452	192	115	113	17341

*健康診断受診者数 4月学生健康診断受診者数・9月教職員健康診断実施者数(相模原キャンパス所属の受診者含む)・10月～12月教職員フォローアップ健康診断者数

保健管理センターの全来室者数は2018年度とほぼ同数であり、利用目的別に見ても大きな変化はない。

2) 精神科医面談者数(教職員はセカンドリーを含めた休職・復職・ストレスチェック関係の面談もカウント)

(2020年3月31日現在)

身分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生		10	8	5	8	1	1	12	4	6	7	3	1	66
教職員		9	5	8	15	1	7	5	7	23	7	6	15	108
合計		19	13	13	23	2	8	17	11	29	14	9	16	174

*教職員はセカンドリー含む

精神衛生関係の相談件数は174件で若干増加傾向であった。精神科医との面談時に必要であると判断された場合は精神科の受診を進め紹介すると共に、精神的に不安定な場合は保健スタッフが落ち着くまで話を聞き、ベッド休養を促すなどの対応を行っている。最近では学生・教職員共に睡眠障害に関する相談及びベッド休養が増えてきており、必要に応じて精神科医との面談につなげ、精神科又は睡眠専門クリニックへの紹介も行っている。

3) 事故・病院搬送及び救急車依頼件数

(2020年3月31日現在)

内訳	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身分	学生	3	2	1	2	1	0	0	4	3	1	1	0	18
	教職員・その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
合計		3	2	1	2	1	0	0	5	3	1	2	0	20
原因	事故	0	2	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	5
	疾病	3	0	1	1	0	0	0	4	3	1	2	0	15
対応	救急車依頼	1	2	1	0	0	0	0	4	3	0	2	0	13
	病院搬送	2	0	0	2	1	0	0	1	0	1	0	0	7

救急車要請件数は13件で、2018年度の7件に比較し増加している。内訳は内科的症状の者が10件、外傷3件であった。病院搬送は7件で、救急車を要請するほどではないが早急に病院受診の必要と判断した場合や、近隣で専門の病院が見つからない場合などに、タクシーや電車を利用し保健管理センター職員が付添い受診した。

4) 夜間開室時間帯の利用者数（救急処置・検査等保健管理センター利用状況）（2020年3月31日現在）

内訳 月	身 分						内 容									
	学生		教職員		その他	合計	計測	投薬	処置	ベッド休養	医師面接	病院紹介	救急搬送	問診調査・相談	健診後再検等	その他
	男	女	男	女												
4月	3	7	0	0	0	10	4	0	4	1	0	3	0	1	0	0
5月	2	3	0	2	0	7	0	1	2	2	1	1	0	0	0	1
6月	3	9	0	1	0	13	2	1	3	4	0	2	0	1	0	1
7月	6	13	2	1	2	24	3	5	13	5	2	2	0	1	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1
10月	2	8	0	3	0	13	3	1	5	2	0	1	0	1	0	1
11月	5	13	1	0	1	20	5	2	6	9	0	1	1	0	0	1
12月	5	5	0	1	0	11	5	0	1	3	1	1	0	1	0	0
1月	2	2	0	1	0	5	0	0	0	2	0	0	0	3	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	28	62	3	9	3	105	22	10	36	28	4	12	1	8	0	5

17時以降の利用者数は2018年度88名だったが、2019年度は105名と若干増加している。17時以降は受診可能な病院も限られてくるため、ベッド休養しても早期の回復が見込めない場合は、早めに病院受診を促す、あるいは保護者へ連絡し迎えを要請するなどの対応をとっている。

②相模原キャンパス

1) 保健管理センター全来室者数

(2020年3月31日現在)

来室理由	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康診断者数	4540	281	53	0	0	331	10	2	4	0	0	0	5221
外部受診者数	13	6	9	3	3	2	2	3	1	0	1	0	43
保険診療者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
証明書発行者数	0	7	3	1	1	3	2	1	0	0	0	1	19
保健センター利用者数	427	250	128	99	19	78	132	135	71	45	29	38	1451
自動血圧計	40	122	112	76	15	58	23	80	18	51	26	20	641
体脂肪計	4	46	19	32	6	5	2	20	1	2	0	11	148
合 計	5024	712	324	211	44	477	171	241	95	98	56	70	7523

2) 精神科医面談者数（ストレスチェックによる面談も含む）

(2020年3月31日現在)

人 数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人 数	3	5	0	2	0	4	1	3	7	2	3	0	30

3) 事故・病院搬送及び救急車依頼件数

(2020年3月31日現在)

内訳		月												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
身	学生	0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	5
	教職員・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	5
原因	事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	疾病	0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	5
対応	救急車依頼	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	病院搬送	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

相模原キャンパスでは、定期の学生健康診断・教職員健康診断、理工学部の教職員・学生に対する特殊健康診断（5・9月）、地球社会共生学部の5月以降に留学から帰国する学生に対して外部受診による定期健康診断（6・7月）を行っている。昨年度と比較すると、精神衛生に関連する症状による来室者数に大きな変化はないが、精神科医面談者数は軽度増加した。保健管理センターが介入した救急車要請・病院搬送は全て内科的症状によるものであり、速やかに医療機関に搬送し、保護者に引き渡すことができている。

8. 行事のための救急待機保健管理センター利用状況

実施日	キャンパス	行事内容	男	女	合計	内容	
2019年	4/1	月 青	入学式	2	1	3	捻挫(1)嘔気(1)風邪(1)
	5/18	土 青	専門職大学院入試	0	0	0	
	5/25 6/1・6/8	土 青	学業説明会	0	0	0	
	6/8	土 相	Aoyama Rikei Girls フェア	0	0	0	
	6/15	土 青	キャンパス見学会	0	0	0	
	7/13	土 相	大学院博士前期課程7月入試	1	0	1	外傷(1)
	7/14	日 青	専門職大学院入試	0	0	0	
	7/14	日 相	オープンキャンパス	1	0	1	気分不快(1)
	8/4・5・6	日～火 青	オープンキャンパス	1	16	17	腹痛(1)頭痛(2)気分不快(5)外傷(4) 鼻出血(1)生理痛(3)その他(1)
	9/7	土 相	大学院博士前期課程9月入試	0	0	0	
	9/14・28	土 青	推薦・特別・編入・転学部陣営学科入試	0	0	0	
	9/23	月祝 青	青山学院大学同窓祭	0	0	0	
	10/5	土 相	大学院博士前期・後期課程外国人留学生入試、大学院博士後期課程特別入試	1	0	1	その他(1)
	10/5・6	土日 青	専門職大学院入試	0	0	0	
	10/19	土 青	推薦・特別・編入・転学部陣営学科入試	0	0	0	
	11/1・2・3	金～日 青	青山祭	4	6	10	気分不快(3)外傷(3)捻挫打撲(1)火傷(2) その他(1)
11/16・23・30	土 青	推薦・特別・編入・転学部陣営学科入試	0	0	0		
11/16・23	土 相	推薦・特別・編入・転学部陣営学科入試	2	1	3	外傷(2)その他(1)	
12/8・15	日 青	専門職大学院入試	0	0	0		

2020年	1/18・19	土・日	青	センター入試	0	1	1	切傷(1)
	2/1・8・15・22	土	青	専門職大学院入試	0	0	0	
	2/1	土	相	大学院博士前期・後期課程外国人留学生入試、大学院博士後期課程特別入試	0	0	0	
	2/7・10・11・13・14・15・18・19・21	月～土	青	一般入試	26	20	46	風邪(4)頭痛(6)腹痛(3)下痢(2) 生理痛(5)気分不快(11)貧血(1) 嘔気嘔吐(6)切傷(2)外傷(2)その他(4)
	3/25	水	青	学位授与式(中止)	2	2	4	外傷(1)切傷(2)アレルギー(1)

9. 各種情報処理

①学生健康診断処理関係

月	処理内容	保健管理センター処理日	事務システム室処理日
4月	保健データ管理画面アップデート開始	4/1～通年	
	学生健康診断検尿データアップデート処理	4/5. 8-10. 16-19. 22. 24-25	
	学生健康診断データ(HCCALT)アップデート処理	4/11	4/11
	春プリントファイル更新処理		4/11. 4/24
	学生健康診断有所見者リスト出力処理	4/12	
	健康診断証明書ファイル作成		4/24
	健康診断結果通知打出し処理	4/25	
	Web版健康診断結果処理	4/25	4/24
7月	学生健康診断データ(相模原HCCALT)アップデート処理	7/26	7/26
	春プリントファイル更新処理		7/26
	地球共生学部留学帰国生の健康診断証明書ファイル更新処理		7/26
11月	学生現在症呼出しリスト出力処理	11月初旬	
3月	学生身分異動統計処理	3/27	
	学籍新年度処理 (SAMSHOUIDB 新年度学籍情報参照開始)		3/27
	新年度離籍分離処理	3/28	
	メモデータ離籍分離処理	3/28	
	保留データ離籍分離処理	3/28	

②教職員健康診断処理関係

月	処理内容	保健管理センター処理	人事部処理
6月	人事部人事課より 教職員退職者、定期健康診断受診対象者リスト提供		6/14
	教職員健康診断Accessデータ作成処理	6/14	
	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	6月(各キャンパスごと)	
9月	人事部給与課より6月以降就任、退職者リスト提供		9/5
	教職員健康診断Accessデータ更新処理	9/5	

10月	教職員健康診断結果アップデート処理	10月中旬	
	人間ドック結果用Accessデータ作成処理、適宜更新	10月中旬～通年	
	私学共済提出用健康診査結果処理	10月中旬～通年	
11月	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	11月（各キャンパスごと）	
1月	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	1月（各キャンパスごと）	
2月	人事部人事課より雇入れ時健康診断対象者リスト提供		1月末～通年
	雇入れ時健康診断Accessデータ処理	2月～通年	
3月	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	3月（各キャンパスごと）	
	雇入れ時健康診断結果アップデート処理	3月～通年	

10. 受動喫煙防止対策

2020年4月より施行される改正健康増進法に伴い、受動喫煙の防止のため、学院側の対策として4か所あった屋外喫煙所が1か所に縮小された。また、当該喫煙所には標識の掲示・仕切りを作成することで受動喫煙対策を実施してきた。さらに来年度には、現喫煙所の解体作業によって喫煙所が使用できなくなることに伴い、保健管理センターでは、受動喫煙防止対策として、以下の理由（①～④）から、学生の敷地内全面禁煙、および将来的には教職員含めた敷地内全面禁煙について大学学長へ提案した。

- ①本学入学後に喫煙開始する学生が多い実態があること
- ②教育機関の在り方として喫煙防止教育を推進する必要があること
- ③学生にとって、喫煙が就職活動や就職してから不利になるうること
- ④健康増進法改正により、教育機関は敷地内全面禁煙であること

同時に保健管理センターでは、卒煙希望者に対し禁煙サポートの実施を提案したが、現在も回答は得られていない。敷地内全面禁煙を実施するにあたっては、受動喫煙以外のマナー面等での問題が生じる可能性もあり、現状としては厳しいと考えられる。保健管理センターでは、引き続き学生の禁煙状況の把握と喫煙防止教育、卒煙サポートを継続していきたい。